

10002 キリスト教概論Ⅱ e Introduction to Christianity II		3年次～ 前期 2単位	
担当者	瀧野 修	履修可能学科	E必 Pe必 Pc必 C必 W F N
		関連資格	保育 (P c)
サブタイトル	バッハのキリスト教信仰と教会音楽		
授業内容 ねらい	<p>その生涯を通してルター派プロテスタントのキリスト教信仰を貫いたドイツの作曲家J. S. バッハの足跡をたどりながら、彼の音楽創作活動とキリスト教との関わりを探ります。</p> <p>1) 生誕の地アイゼナハから終焉の地ライプツィヒにいたるまで、その活動拠点を移し続けたバッハの65年の歩みをたどります。 2) 各地での創作活動を、作品を実際に鑑賞しながら確認します。 3) バッハにおける「教会音楽」と「世俗音楽」との関係を考察します。 4) バッハの教会音楽に内在する「ルター派信仰」とは何か、その意味を探ります。 5) スライドやCD、DVDなどを多用しながら、多角的にバッハの姿を描き出します。</p>		
授業計画	第1回 バッハがたどった生涯の道のりの概観 第2回 幼少期のバッハ 第3回 3都市で受けたバッハの教育 第4回 青年バッハ 第5回 ルター派正統主義と敬虔主義 第6回 バッハにおける音楽の究極目標 第7回 バッハの考える「整った教会音楽」とは 第8回 宮廷オルガニストとしてのバッハ	第9回 バッハのカンタータ 第10回 ケーテン宮廷楽長としてのバッハ 第11回 カルヴァン派とルター派 第12回 トーマスカントルとしてのバッハ 第13回 『マタイ受難曲』 第14回 バッハの宗教音楽と現代 第15回 バッハの哲学と啓蒙主義	
教科書 参考書	教科書は使用しませんが、毎回、教室でプリントを配付します。参考図書は、折に触れて授業中に紹介します。		
評価方法	毎回提出してもらおうミニレポートと、学期末のレポートの成績を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			